

三重縣公報

第三七〇號

昭和十五年六月二十四日

月 曜 日

告 示

●三重縣告示第六百三十六號

昭和十二年一月二十五日付三重縣告示第九十三號並昭和十二年一月三十日付三重縣告示第四百四十八號ヲ以テ定メタル方面委員ノ定數ヲ昭和十五年六月十五日左ノ通變更ス

昭和十五年六月二十四日

三重縣知事 中野 與 吉 郎

方 面 方面委員定數

松 阪 市 二 二 人

飯南郡 粥見町 一 〇 人

●三重縣告示第六百三十七號

米穀移動高調査指導員並調査員六月十日附ヲ以テ左記ノ通囑託解囑及擔當區域變更セリ

昭和十五年六月二十四日

三重縣知事 中野 與 吉 郎

採捕スベキ
あわび大サ
及數量

採捕ノ場所

採捕方法

採捕時期

許可年月

許可期間

放養場所

採捕從事者住所及氏名

許可ヲ受ケタル者ノ住所及氏名

志摩郡片田村漁業協同組合享有第三一五二號專用漁場
中輪探區第三區、
第十一區、第六區、
第五區、第一區ヲ
除外シタル區域ノ
淺海

自六月十日
至六月三十日
大潮時一
日乃至二
日間

昭和十五年六月十日
至昭和十五年六月三十日

志摩郡片田村漁業協同組合
享有第三一五二號專用漁場
中輪探區第八區

志摩郡片田村漁業協同組合
員及其ノ家族

志摩郡片田村漁業協同組合

●三重縣告示第六百三十九號

高松耕地整理組合(三重郡川越村)ニ對シ規約變更ノ件昭和十五年六月十九日認可セリ

昭和十五年六月二十四日

三重縣知事 中野與吉郎

●三重縣告示第六百四十號

平尾第二耕地整理組合(三重郡縣村)ニ對シ地區竝設計書變更ノ件昭和十五年六月二十一日認可セリ

廳中事項

●敍任辭令

昭和十五年三月三十一日

三重縣公立青年學校教諭 (一志郡柚原校)

加藤秀藏

(各通)同 助教諭(同) 佐々木 規

一志郡宇氣鄉村立柚原青年學校指導員

大浦 三直

岐阜縣揖斐實業學校教諭兼舍監

奥野 政次郎

年手當金拾四圓給與

昭和十五年五月二十日

三重縣公立小學校訓導

(津市養正校)

津村 好三郎

若林 元典

任三重縣立神戶中學校教諭

六級俸ヲ給ス

寺田 敏子

群馬縣立安中高等女學校教諭

任三重縣立阿山高等女學校教諭

秋田縣立秋田高等女學校教諭兼舍監

小林 佐兵衛

任三重縣上野商業學校教諭

四級俸ヲ給ス但當分ノ内金百拾圓給與

任三重縣立河原田農學校教諭

七級俸ヲ給ス

森田 朋子

任三重縣桑名市立實科高等女學校教諭

十一級俸ヲ給ス但當分ノ内金四拾圓給與

橋本 信隆

任三重縣富洲原町立實科高等女學校教諭

九級俸ヲ給ス

速水 隆郎

三重縣立志摩水產學校教諭

依願本職ヲ免ス

林 明

依願本職並兼職ヲ免ス

三重縣公立小學校訓導

九 鬼民子

河壽郡一身田尋常高等小學校訓導ニ補ス

同 (度會郡今一色校)

池田 慎吉

度會郡贊尋常高等小學校訓導ニ補ス

三重縣公立青年學校助教諭

年手當金四拾六圓給與
 同 校長(三重郡神前校) 伊藤 善一
 同 助教諭(同) 安垣 勇
 同 (同) 伊藤 鐵夫
 同 (同) 八木 已稔
 (各通)同 (同) 山田 嘉男
 三重郡神前村立青年學校指導員
 山口 茂夫
 同 稻垣 徳次郎
 同 江川 福治
 同 山田 清一
 年手當金參拾五圓給與
 三重縣公立青年學校助教諭
 (飯南郡粥見校) 西山 實三
 年手當金貳拾圓給與
 同 教諭(一志郡波瀨校) 山本 彌市
 月手當金四圓給與
 同 助教諭(同) 向田 清一

同 (同) 三羽 廣次
 同 (同) 中野 信藏
 同 (同) 辻 出一郎
 同 (同) 出 丸 恒雄
 同 (同) 海 野 正武
 一志郡波瀨村立青年學校指導員
 山下 利一

三重縣公立青年學校助教諭

年手當金參拾五圓給與
 三重縣公立青年學校助教諭
 (飯南郡粥見校) 西山 實三
 年手當金貳拾圓給與
 同 教諭(一志郡波瀨校) 山本 彌市
 月手當金四圓給與
 同 助教諭(同) 向田 清一

月手當金參圓給與
 三重縣公立青年學校助教諭
 (一志郡波瀨校) 前川 旭
 同 月手當金五圓給與
 (多氣郡相可校) 奥源 一郎
 年手當金拾八圓給與
 (各通)同 (同) 岡田 伊勢
 同 (同) 福田 綾子
 年手當金六圓給與
 同 (多氣郡大淀校) 山本 四通郎
 年手當金四拾圓給與
 同 (同) 森 道子
 年手當金參拾圓給與
 同 (南牟婁郡神川校) 速水 勇

(各通)同

年手當金拾八圓給與
 同 (同) 松本 四郎
 同 (同) 西久保 益夫
 同 校長(同) 田岡 龜吉
 年手當金參拾九圓給與
 休職三重縣公立青年學校助教諭
 (桑名郡桑部校) 福森 重太郎

同 (員辨郡大泉原校) 伊藤 俊夫
 同 (河藝郡白子校) 岩崎 讓
 (各通)同 (飯南郡柿野第二校) 瀨古 幸
 同 (阿山郡西柘植校) 山田 千代子
 小學校令施行規則第二百二十二條第一號ニ依リ休職ヲ命
 ス

復職ヲ命ス

三重縣公立小學校訓導ニ任ス
 專科正教員勤務
 九級俸當分月俸四拾參圓給與
 桑名郡桑部尋常高等小學校訓導ニ補ス
 休職三重縣公立小學校訓導
 (鈴鹿郡川崎校) 丹賀 すぎへ

復職ヲ命ス

鈴鹿郡椿尋常高等小學校訓導ニ補ス
 同 (飯南郡清代校) 山下 正吾
 復職ヲ命ス
 一志郡鵜尋常高等小學校訓導ニ補ス
 三重縣公立小學校訓導

同 (三重郡富田校) 福岡 薫次郎
 同 (河藝郡白子校) 樋口 勝彌
 同 (度會郡相賀校) 竹内 傳吉
 同 (志摩郡越賀校) 坂倉 千鶴子
 同 (北牟婁郡桂城第一校) 松田 静子
 同 (津市高茶屋校) 中井 福
 同 (桑名市桑名第五校) 瀨古 たづ子
 小學校令施行規則第二百二十六條第二號後段ニ依リ本職
 ヲ免ス

(各通)同 (河藝郡一身田校) 北山 芳子
 休職同 (志摩郡波切校) 福永 つね
 小學校令施行規則第二百二十六條第二號前段ニ依リ本職
 ヲ免ス
 昭和十五年六月十日

三重縣女子師範學校教諭
兼三重縣立鈴鹿高等女學校教諭
依願本職並兼職ヲ免ス

鈴木鹿百

昭和十五年六月十一日

三重縣立宇治山田商業學校書記

米田 二三男

依願本職ヲ免ス

昭和十五年六月十三日

福島縣立福島中學校教諭

金兒輝夫

任津市立高等女學校教諭

五級俸ヲ給ス

昭和十五年六月十五日

津市立勵精商業學校書記

青木俊夫

依願本職ヲ免ス

三重縣立阿山高等女學校教諭兼舍監

豐濱育子

依願本職並兼職ヲ免ス

昭和十五年五月三十一日

(各通) 員辨郡阿下喜町、林 太郎

近藤 實

員辨郡阿下喜町體育委員ヲ囑託ス

(各通)

阿下喜町體育委員 羽場 實
伊藤喜夫

員辨郡阿下喜町體育委員囑託ヲ解ク
昭和十五年六月二十日

地方農林主事 佐々木佳之

地方商工主事 黒田 健

地方農林主事 伊藤 晃

同 前田 榮太郎

同 宮本 長輝

地方農林技師 近藤 亮一

三重縣屬 佐野 義弘

經濟部農務課兼務ヲ命ス

●教員出向

四日市高等女學校教諭清水百合子ハ五月二十日附關東局へ、四日市市立商工學校教諭鹽津敏平ハ同月三十一日附福島縣へ孰モ出向セリ

●教員改姓

三重縣公立小學校訓導(河藝郡白子校)伊藤玄々ハ五月二十日青木玄孝ト、同(一志郡八幡第一校)岸岡梅夫ハ

同月二十三日森梅夫ト、同(飯南郡波瀾第二校)松本順三郎ハ同日米増順三郎ト、同(一志郡太郎生校)鈴木玄めハ同月二十八日中林玄めト、同(南牟婁郡下市木校)岡本昇治ハ同日中垣昇治ト、同(三重郡川島校)佐藤逸子ハ同月二十九日田中逸子ト同(度會郡野後校)宮谷喜一ハ六月十日村田喜一ト孰モ改姓セリ

●教員死亡

三重縣公立小學校訓導(一志郡八幡第一校)森梅夫ハ五月二十三日死亡セリ

●方面委員死亡

河藝郡天名村方面委員宮崎庄太郎ハ昭和十五年六月十二日死亡セリ

●任談

六月八日縣公報第三千七百六十八號二頁上段廳中敘任辭令中三重縣公立青年學校助教諭(多氣郡萩原校)大西たつひの十一級俸當分金參拾六圓トアルハ金參拾五圓ノ誤ニ付訂正ス

通牒照會

●文第六一號

昭和十五年六月二十四日

總務部長
知事官房主事

各官廳長殿
各市町村長殿

滿洲國皇帝陛下御來縣ニ付國旗掲揚方ニ關スル件

滿洲國皇帝陛下 神宮御參拜ノ爲御來縣遊サレヘキ趣ニ有之候處當日國旗掲揚ニ關シ左記ノ通御取計相成度
此段及通知候也

記

一 宇治山田市内及御通過沿道筋ニ當ル各官廳及市町村役場(所)ハ國旗ト共ニ滿洲國國旗ヲ掲揚スルコト
二 國旗ト共ニ滿洲國國旗ヲ掲揚セントスル場合ノ取扱方法

イ 旗竿ヲ交叉セス併立シタル場合

建物ニ向ツテ左カ滿洲國國旗トシ右カ國旗トス

ロ 旗竿ヲ交叉シタル場合

建物ニ向ツテ左カ滿洲國國旗(旗竿ハ右下ヨリ左斜上へ)右カ國旗(旗竿ハ左下ヨリ右斜上へ)トス但シ國
旗ノ旗竿ヲ内側(建物ヨリ見タリ場合)トスルコト

ハ 一本ノ旗竿ニテ掲揚スル場合

一本ノ旗竿ニテ掲揚スルトキハ同シ高サトシ上下ノ區別ヲナスハ不可

ニ 手ニ持テタル場合

自己ノ手ニ持テタル場合ハ右カ滿洲國國旗トシ左カ國旗トス

●教第二三七四號

昭和十五年六月二十四日

學 務 部 長

各 學 校 長 殿

滿洲國皇帝陛下御來縣御歡迎ニ關スル件

今般滿洲國皇帝陛下ニハ我邦御訪問ノ御神宮御參拜ノ爲近ク本縣ニ御成リ遊バサルル趣ヲ拜シ候ニ付テハ此ノ際特ニ歡迎ノ誠意ヲ表シ日滿親善ノ實ヲ舉ゲ度候條左記御留意ノ上其ノ校ニ於テ適宜御實行相成度此段及通牒候也

記

- 一、當日朝會等適當ナル機會ニ於テ滿洲國皇帝陛下御來訪 神宮御參拜ノコトヲ傳ヘルコト
- 二、鐵道沿線ノ學校ニ在リテハ市町村長竝ニ所轄警察署長ト相談ノ上附近適當ナル場所ニ於テ奉迎送スルコト
- 三、鐵道沿線竝ニ宇治山田市沿道ニ奉迎送スル小學校兒童ニ對シテハ日滿兩國旗ヲ縣ヨリ交付相成ニ付長サ六十種ノ旗竿ニ取附ケルコト
- 四、歡迎送ノ意ヲ表スル爲小型日滿旗ヲ打振ルコトハ制止スルニ及バズ
- 五、自然ニ萬歲ヲ呼稱スルハ制止スルニ及バザルコト
- 六、當日ハ相當暑氣嚴シキコトト存ゼラルルニ付健康上多少トモ懸念アル者ハ豫メ御遠慮申上ゲシメラレ度特ニ小學校兒童ニ就キテハコノ點留意ノコト

●商第三三四四號

昭和十五年六月二十四日

經濟部 長

支廳長殿
各市町村長殿

アルミニウム屑配給統制規則施行ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ五月二十一日付商第三、一四六號(縣公報登載)ヲ以テ及通牒候處六月五日付商工省鑛産機械
兩局長ヨリ右規則第八條ノ許可申請書ニ付テハ別紙様式ヲ基準トスルコトト相成候趣通知有之候條關係業者
ニ周知方可能御取計相成度此段及通知候也

(様式第四號)

アルミニウム屑熔融爐新設(増設、改造)許可申請書

年 月 日

住所

商號

代表者 氏

名 印

商工大臣

殿

別記計畫ニ依ル熔融設備ノ新設(増設、改造)ニ付アルミニウム屑配給統制規則第七條ノ許可相成度同規則第
八條ノ規定ニ依リ所定ノ書類相添ヘ此段及申請候也

記

一、新設(増設、改造)工場ノ名稱及位置

工場

二、新設(増設、改造)熔融爐ノ能力

縣府 郡市 村町 番地

種	類	能	方	基	數	備	考
爐ノ種類	燃	料	肝	基	數	備	考

〔註〕 (一) 爐ノ種類欄ニハ反射爐、黒鉛坩堝、鐵坩堝、抵抗爐等ノ別ヲ記載スルコト
 (二) 燃料欄ニハ電氣、瓦斯、コークス、石炭、重油等ノ別ヲ記載スルコト

(三) 能力欄ニハ新板屑ヲ標準トシテ一回ノ熔融能力ヲ記載シ一回ノ熔融時間ヲ附記スルコト

三、新設(増設、改造)熔融爐ニ依リ製造スベキ物品(再生アルミニウム)ノ用途別數量及其ノ原料ノ取得方法

(一) 製品ノ用途別數量

(二) 再生アルミニウム以外ノアルミニウム屑ノミヲ原料トスル場合

製品(再生アルミニウム)ノ用途	數量	肝	備	考

〔註〕 (A) 製品(再生アルミニウム)ノ用途欄ニハ(一)販賣又ハ引渡用(委託加工ノ場合)(二)自工場用ニ大別シ更ニ自工場用ニ付テハ機械用鑄物、家庭用鑄物器物、其ノ他ノ鑄物、箔、鍛造品、板、管、棒、線及脱醋劑及粒等ノ區別ヲ明ニスルコト
 (B) 數量ハ一ヶ月ニ付記載スルコト
 (三) 再生アルミニウムヲ原料トシテ使用スル場合

製	品	ノ	用	途	數	量	肝	備	考
種	類	ノ	用	途	數	量	肝	備	考

〔註〕 (A) 製品ノ種類欄ニハ板、管、棒、線、機械用鑄物、家庭用鑄物器物、箔、鍛造品等ノ區別ヲ記載シ用途欄ニハ(一)販賣用又ハ引渡(委託加工ノ場合)用(二)自工場用ノ別ヲ記載スルコト
 (B) 數量ハ一ヶ月ニ付記載スルコト
 (三) 原料ノ取得方法

種	類	數	量	肝	價	額	取	得	方	法

「註」(A)種類欄ニハ新板屑、ガラ屑、機械鑄物屑、ガラ鑄物屑、再生アルミニウム、削粉、溶解滓、其ノ他等

ノ區別ヲ記載スルコト

(B)數量ハ一ヶ月ニ付記載スルコト

四、新設(増設、改造)ヲ必要トスル事由

五、使用開始(借受)ノ豫定時期

使用開始時期

借受 期間

(添附書類)

六、法人ニ在リテハ定疑、登記簿ノ謄本、貸借對照表及損益計算書

●副第二三八號

昭和十四年六月二十四日

經 濟 部 長

支 廳 長 殿
各 市 町 村 長 殿

農産罐詰販賣制限ニ關スル農林省令制定ニ關スル件

今般昭和十五年六月十日附農林省令第四十七號(昭和十五年六月十日附官報登載)ヲ以テ農産罐詰ノ販賣制限ニ關スル件公布相成農産罐詰ノ輸出振興並軍需ノ確保ヲ圖ルタメ之ガ販賣ノ統制ヲ實施セムトスルモノニ有之本則第二條ノ農産罐詰共販機關トシテハ曩ニ設立セラレタル日本農産罐詰共販株式會社ヲ指定シ之ヲシテ販賣統制ヲ行ハシムルト共ニ同條ノ指定團體トシテハ産業組合及産業組合聯合會ヲ指定シ産業組合系統ノ製

造ニ係ル農産罐詰ハ其ノ系統機關ヲ通ジテ保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會ニ集荷ノ上原則トシテ之ヲシテ直輸出分ヲ除キ該會社へ販賣セシムルコトト相成居候條右御了知ノ上可然貴管下關係者ニ周知方御取計相煩度此段及移牒候也

追而本則第一條ノ指定スル罐詰ノ種類ハ農林省告示第二百五十四號(昭和十五年六月十日附官報登載)ヲ以テ指定相成居候條爲念申添候

●地第三五二九號

昭和十五年六月二十四日

警	學	經	總	精
察	務	濟	務	動
部	部	部	部	本
				部
				會
				長
長	長	長	長	

支 廳 長 殿
 各 市 町 村 長 殿
 各 中、青、小 學 校 長 殿

百二十億貯蓄強調實施要綱通牒

貯蓄ノ増加ハ實ニ事變遂行ノ基礎トモ稱スベク支那事變國債、債券ノ消化ヲ圖リ生産力擴充資金ノ供給ヲ圓滑ナラシムルハ喫緊ノ要事ニ有之縣ニ於テハ國ノ百二十億貯蓄強調方策ニ呼應シ左記ノ通り實施要綱決定致候條御了知ノ上縣民ヲシテ戰時意識ニ徹シ生活ノ切下、消費ノ節約ニ努メシメ一層貯蓄ノ實行ヲ強化シ時艱ノ克服ニ邁進スル様御配意相成度此段及通牒候也

記

百二十億貯蓄強調實施要綱

一、縣ニ於ケル實施事項

1、國民貯蓄督勵委員會開催

百二十億貯蓄強化實行方策ニ付協議懇談

ハ、強調要綱實施方法指導パンフレット配付

- 2、貯蓄強調ニ付銀行、會社、大商店、各種團體ト協力
- イ、上半期賞與高率貯蓄及國債支給運動ノ趣旨徹底
- ロ、買物貯蓄ノ實施
- 3、映畫講演會

映畫講演班ヲ設置シ希望町村へ派遣シ國民貯蓄實行ノ強化ヲ期ス

- 4、ポスター、ビラ、パンフレットノ配付
- イ、ポスター 大藏省ヨリ送付ノモノヲ配付ス
- ロ、ビラ 百二十億貯蓄ヲ強調セルビラヲ作製各市町村ヲ通ジテ各戸へ配付
- ハ、パンフレット市町村長會ノ際配付
- 5、百二十億貯蓄強調週間ノ設定
- 自七月一日 至七月七日

6、其 他

イ、スライドノ利用

貯蓄強調ノスライドヲ購入シ各映畫常設館へ依頼上映ス

ロ、懸垂幕掲揚(縣廳及市街地)

ハ、自動車、電車ノ内部へポスター掲出

二、市町村ノ實施事項

- 1、常會開催(強調週間第一日)
- 2、不用品交換即賣會(同第二日)
- 3、生活刷新ノ婦人懇談會(同第三日)

- 4、映畫講演會(可成週間中)
- 5、ポスター、ビラノ配付(週間中)
- 縣ヨリ送付ノモノヲ使用
- 6、強調週間ノ實施

實施事項

第一日(七月一日) 興亞奉公日

貯蓄報國ノ覺悟ヲ新ニシ其ノ決心ヲ神前ニ祈誓スルコト
午前幹部常會 午後部落常會

第二日(七月二日) 資源供出日

金屬製品、毛絲製品、綿製品等ノ整理賣却及金ノ賣却ヲナシ得タル金額ヲ貯蓄スルコト

第三日(七月三日) 物資愛用日

物資ヲ尊重シ有合セ品ヲ活用シテ其ノ效用ヲ最大限ニ發揮スルト共ニ今日一日ハ總テノ物ニ付新調ヲナササルコト

第四日(七月四日) 克己日

克己自制ノ精神ヲ涵養シ酒、煙草其ノ他奢侈ニ亘ル嗜好品ヲ節シ之レヲ習慣ツケ得タル金ヲ貯金ニ充テルコト

第五日(七月五日) 勤勞倍加日

早起増業ニ依ル勤勞倍加及空閑地利用ニ依ル生産ノ増加ヲ計ルコト

第六日(七月六日) 節米強化日

戰時食糧報國ノ實行ヲ期シ少クトモ五割以上節米ヲ強化シ尙出來得ル限リ米ナシ日トスルコト

第七日(七月七日) 事變紀念日

各市町村ニ於テ定メタル事變紀念日ノ諸行事ヲ實行シ事務局認識ニ徹スルト共ニ必ス記念貯金ノ實行ヲナスコト

三、其 他 小學校兒童ヲシテ百二十億貯蓄強調ノ圖畫、習字ノ貼付掲出ヲナサシム

